



1 「みどり色の木」1975年 32.7×29.0cm 銅版画・紙

2020.3.14 Sat → 7.26 Sun

## 繊細な色味と出会う 南桂子展

# あの木の向こうがわ

線は、物語を綴ります。そこに、心に眠るいくつかの気持ちに誘い出されて、柔らかな色が集まります。そうして生まれた世界の中で、小さな鳥や魚などのモチーフは、やさしさに包まれながら私たちの向こうがわを眺めています。

銅版画家・南桂子(1911-2004)は富山県に生まれ、高等女学校時代から絵画や詩作を試み、のちに20世紀を代表する銅版画家となる浜口陽三との出会いをきっかけに、1953年に渡仏、銅版画の世界で作品を作り続けました。制作拠点はパリやサンフランシスコでしたが、南作品は、本の装丁やユニセフのカードを通して、いつも身近なところにありました。最近では高校の国語の教科書に表紙として使われるなど、作品の新しい魅力は発掘され続け、世界中の人々に親しまれています。

この度、春に予定した展覧会を会期延長することになりました。本展では、生命の輝きを感じる作品約60点を、繊細な色から語られるもの、静けさそのものを大切に展示します。浜口陽三の作品10点も併せて紹介します。

### ■ 展覧会概要

日 時 | 2020年3月14日(土)～7月26日(日)

会 場 | ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

入館料 | 大人 600円 / 大学生・高校生 400円 / 中学生以下無料

休館日 | 月曜日

開館時間 | 11:00～17:00 (最終入館 16:30、土日は 10:00 開館)

《ナイトミュージアム》

\* 第1・3金曜…6/19、7/3、7/17

\* 20:00まで開館 (最終入館 19:30)

※休館日、開館時間等は都合により変更する場合がございます。

※最新の開館情報はHPをご確認ください。

### ■ 美術館概要

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション

住所 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-35-7

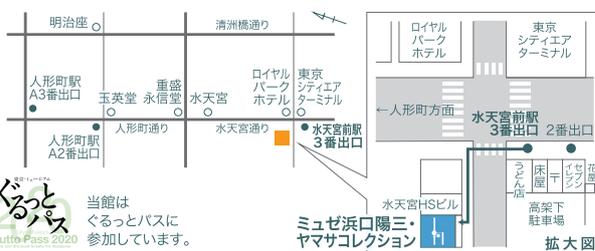
TEL 03-3665-0251 FAX 03-3665-0257 E-mail musee@yamasa.com

Web <https://www.yamasa.com/musee/>

アクセス 東京メトロ半蔵門線「水天宮前」3番出口そば

東京メトロ日比谷線「人形町」A2出口徒歩8分

首都高速箱崎1.C「浜町出口」または「清洲橋出口」T-CAT 駐車場前





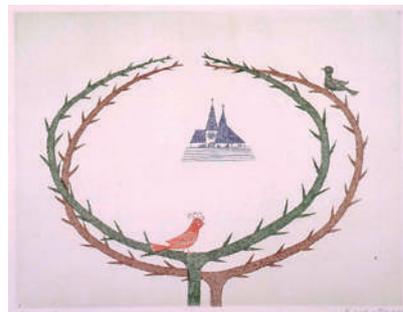
2 「花と蝶」 1969年 37.0×28.2cm 銅版画・紙



3 「並木道」 1961年 39.1×28.2cm 銅版画・紙



4 「2匹の魚」 1970年 28.9×35.3cm 銅版画・紙



5 「春」 1971年 28.4×36.5cm 銅版画・紙



6 「少女と木」 1965年 36.8×28.2cm 銅版画・紙



7 「街の門」 1967年 33.8×28.2cm 銅版画・紙



8 「ブラジルの鳥」 1972年 28.8×35.7cm 銅版画・紙

■ ■ ■ おうちで楽しむ南桂子展 ■ ■ ■

「ことばの物語」

南桂子の作品から浮かぶオリジナルの詩をつくり、郵送でお送りください。手書きでもパソコン入力でも、形式は何でも構いません。絵の中にあるたくさんの物語を、みなさまの言葉でご自由にお書きください。いくつかの作品をHPで紹介しています。お子様からシニアの方まで、素敵な世界をお待ちしております。詩の用紙のどこかに、作品名、公開してもよいお名前、もしくはペンネームをご記入ください。詩のタイトルはご自由におつけいただき、楽しんでご参加ください。

募集期間 : 2020年12月末まで

テーマ作品 : HP 特設サイトに掲載中です。

宛先 : 当館「ことばの物語」宛

※郵送料のみご負担ください

参加して下さった記念に、最後に小さな冊子を作成してお送りします。

封筒の裏側にお名前とご住所をご記入ください。

「ぬりえ企画 いろと一緒に」

詳細はHP特設サイトをご覧ください。

8月末まで南桂子作品のぬりえがダウンロードできます。

■ プレスリリースご担当者様へ ■

お問い合わせは広報担当の七井・下澤まで  
お願いいたします。

画像は番号でお申し付けください。

掲載情報について詳細は当館HPまたはお電話にてお問合せください

TEL 03-3665-0251 E-mail musee@yamasa.com

Web <https://www.yamasa.com/musee/>